

災害に強い忠海第3地区 をめざして

第2次地域行動プラン

(平成27年度～平成31年度)



床浦神社

平成27年4月
忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク

第2次地域行動プラン

(平成27年度～平成31年度)

テーマ

災害に強い 忠海第3地区

【部会・目的】

絆

防災部会

災害時に、一人ひとりの
生命と財産を守る

防犯部会

住民の安心・安全な
暮らしを推進する

福祉・交流部会

住民だれもが、地域住民同士のつながりの中で、
安心感を持って、笑顔でいきいきと暮らすこと
のできる、住みよいまちづくりを推進する

安心・安全

スローガン

手をつなぎ みんなで育む あじかたの町

絆

忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク

自治会（福寿・天神町・中新地区・忠海20区・掛場町内会・川下・床浦一丁目・忠海団地・長浜）
忠海地区民生・児童委員 忠海町第3地区社会福祉協議会 忠海西女性会 忠海町老人クラブ連合会
社会福祉法人聖恵会 竹原市黒滝ホーム 忠海公民館 ボランティアあじかた 会愛サロン
デイホームさくら ふれあいサロン「デイとまと」 忠海第3地区防犯組合 竹原市消防団第5分団2部
忠海コミュニティ推進協議会 黒滝山を愛する会 NPO法人福祉ステーションただのうみ
忠海小学校・PTA 忠海中学校・PTA 忠海高校・PTA 明星保育園 聖愛幼稚園
子ども会（長浜・北風・エースゆうやけ・ドリーム）

防災部会

～ 災害時に、一人ひとりの生命と財産を守る ～

●第1次地域行動プランのふりかえり（平成22年度～平成26年度）

事業	ふりかえり（◎：成果・△：課題）
防災危険箇所の状況確認	◎防災マップを作成し、全戸配布することによって、防災意識を高めることができた。
防災マップ（試案）の作成	◎防災マップを2度見直し、海拔標示板を避難場所に設置した。 △今後も、新たな防災マップの作成及び見直しが必要である。
避難場所・避難経路の検討	△「危険箇所の確認」・「避難場所・避難経路の検討」は、防災マップ作成時には必要であるので、防災マップ作成事業に含める。
防災のための清掃活動・環境整備	◎各自治会の実態に応じた、防災のための清掃活動・環境整備ができた。
防災資機材の整備	◎各自治会へ、リヤカー1台を配備した。
自主防災訓練の実施	◎市主催の防災訓練に参加し、忠海西小学校の防災訓練にも忠海第2地区と協議・参加した。 △自らの家族・地域（組）で、「自らの命を守る」行動ができる「避難計画」の作成が必要である。
その他、防災に関すること	◎緊急に対応することはなかった。



防災マップの作成



海拔標示板の設置（西養寺）



防災資機材の整備

●第2次地域行動プランの活動内容（平成27年度～平成31年度）

事業	内 容	分 類	
		ネット ワーク	ネットワ ーク 行 政
防災マップの整備	防災危険箇所、避難場所・経路等状況確認 町内毎、海拔標示板設置の検討 地域の状況変化に応じた防災マップの作成・見直し	○	○
避難計画の作成	家族・地域（組）毎の避難計画の作成 防災意識の高揚・地域内の絆づくり	○	
自主防災訓練の実施	防災訓練等への参加・防災意識の高揚 避難計画に応じた自主防災訓練	○	○
防災のための環境整備	防災の視点に立った清掃活動・環境整備 地域実態に応じた清掃活動・環境整備	○	
防災資機材の整備	必要な防災資機材の検討・整備	○	○
その他	防災に関すること	○	○

防犯部会

～ 住民の安心・安全な暮らしを推進する ～

●第1次地域行動プランのふりかえり（平成22年度～平成26年度）

事業	ふりかえり（◎：成果・△：課題）
声かけ・あいさつ運動	◎声かけ・あいさつ運動のステッカーを作成し、各戸配布するなど啓発をした。 ◎挨拶がよくできている。
児童見守り活動	◎見守り活動への参加者が増えている。
パトロールの拡充	◎PTAの参加もあり、意識が高まっている。
防犯設備の点検・改善	◎防犯設備の増設、LED電球との交換などをした。
その他、防犯に関すること	◎忠海第2地区と「子ども110番の家」の旗について協議し、すべての旗を新調した。（旗は、子どもたちがお礼を兼ねて訪問し、配付した。）



声かけ・あいさつ運動



児童見守り活動



児童見守り活動

●第2次地域行動プランの活動内容（平成27年度～平成31年度）

事業	内容	分類	
		ネットワーク	ネットワーク行政
あいさつ運動の推進	顔と顔をつなぐ「あいさつ運動」の推進 あいさつでつなぐ、地域内の人間関係づくり	○	
児童見守り活動の実施	登下校時、児童・生徒の安全見守り活動 必要に応じて、学校・関係機関との連携	○	○
防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施 地域内の防犯意識の高揚	○	○
防犯設備の整備	防犯設備の点検・改善及び設置	○	○
その他	防犯に関すること	○	○



青色回転灯パトロール



青色回転灯パトロール



防犯灯の増設

福祉・交流部会

～ 住民だれもが、地域住民同士のつながりの中で、安心感を持って、
笑顔でいきいきと暮らすことのできる、住みよいまちづくりを推進する ～

●第1次地域行動プランのふりかえり（平成22年度～平成26年度）

事業	ふりかえり（◎：成果・△：課題）
声かけ・あいさつ運動	◎声かけ・あいさつ運動のステッカーを作成し、各戸配布するなど、啓発をした。 ◎挨拶がよくできている。
ふれあいサロンの整備	△活動の拠点がなく、サロンの整備はできなかったが、サロンは、高齢者の生きがいや高齢者同士のふれあいを図る重要な場でもあり、整備のあり方等を検討・協議していく。
要援護者に配慮した連絡網づくり	◎突発的な事故から命を守る「安心カード」を作成し、「命の宝箱シール」を配付した。 △災害から命を守る「要援護者に配慮した連絡網」は検討中であるが、防災部会とも連携しながら、進めていく。
その他、福祉・交流に関すること	◎緊急に対応することはなかった。



声かけ・あいさつ運動



要援護者に配慮した連絡網づくり



安心カードの取組み

●第2次地域行動プランの活動内容（平成27年度～平成31年度）

事業	内容	分類	
		ネットワーク	ネットワーク行政
声かけ運動の推進	心と心をつなぐ「声かけ運動」の推進 声かけでつなぐ、地域内の人間関係・絆づくり	○	
ふれあいサロンの整備	ふれあいサロンの整備・運営 高齢者同士のふれあい・生きがい・絆づくり	○	○
連絡・支援体制の整備	「安心カード」の定着・見直し 「要援護者に配慮した連絡網」づくり・見直し	○	○
その他	福祉・交流に関すること	○	○



命の宝箱の取組み（玄関内側・冷蔵庫表面・冷蔵庫内のペットボトル）

おわりに

「忠海第3地区」は、海と山とに囲まれた、とても風光明媚な地域ですが、大雨が降れば土砂災害が、地震があれば津波が、と、とても気になる「災害に弱い地域」でもあります。

また、高齢化が進んでいる地域でもあり、災害が発生すると、となり同士の声かけや支え合いがなければ、安心して、安全に避難することが困難な地域でもあります。

こうした「忠海第3地区の地域実態」と平成19年4月に実施した「一人1アンケート」から明らかになった「地域の願い」をふまえ、平成22年3月、「災害に強いまちづくり」をテーマに掲げ、「忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク」を設立しました。

「災害に強いまちづくり」を実現するため、平成22年度から平成26年度の5年間に取り組む「第1次地域行動プラン」を策定し、防災部会・防犯部会・福祉交流部会の3部会で推進してきました。

この度、「第1次地域行動プラン」が終了するにあたって、3部会の取り組みの「成果と課題」を明らかにし、平成27年度から平成31年度の5年間に取り組む《第2次地域行動プラン》を策定しました。

「第2次地域行動プラン」を、3部会が中心となって推進することによって、「手をつなぎ みんなで育む あじかたの町」が実現し、忠海第3地区の皆様が、安心・安全に暮らせる「災害に強い忠海第3地区」が達成されることを願って、取り組みを推進していきたいと考えています。

今後とも、ネットワークの活動に対し、皆様のご理解とご支援をいただきますようよろしく願いいたします。

忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク
会長 大本 貴志

